



広報

とね

茨城県北相馬郡利根町役場  
昭和49年1月20日発行 No. 117



# 年頭のごあいさつ

## 三万田園都市建設への歩み

利根町長 小島 栄一郎



謹んで新春のお喜びを申し上げます。

当町は首都圏内に位置しながら、多年にわたり、人口の減少を来たし、過疎の現象を生起するに至り、町勢の衰頹と産業の不振は覆うべくもなく、私は町長に就任以来、まず過疎化より脱皮し、町勢の伸張と町民福祉の増進を図るべく、当町をとりまく情勢の急激な変貌を把握し、周辺地域における大規模開発プロジェクトの展開による経済波及効果を的確に受けとめつつ、産業の振興と積極的な企業誘致、宅地造成を図り、農・工・商共々の繁栄を期し、生産と生活の調和した豊かな田園都市建設を目標とし、爾来、議会の協力と町民各位の理解

つづって保存いたしましたしょう

# 新年のごあいさつ

利根町議会議長 上原 欽治



利根町の皆様様明けましておめでとございます。一九

れ、三万田園都市建設の布石が順調に行なわれております。また、現在建設中の国家的

に重点をおき、きめこまかい施策を強力に推進するつもりであります。

のものと、町の総力を結集し之が具現に努め、着々その成果を挙げてまいりました。即ち産業基盤である道路の整備も概ね完了し、小学校、診療所、プール、産業道路、老人いこいの家及び中央公民館の建設も着々進み、更に将来の人口増に伴う公共施設建設のための敷地を先行取得し、なお積極的開発により、町の経済成長を図るべく、市街地周辺約一〇〇ヘクタールに良好企業を誘致し、宅造が進めら

好むと好まざるにかかわらず、迫り来る都市化の奔流に対処し、常に大局を誤らない政策こそ、明るく豊かな町づくりの基本であり、私は就任当初の理念である「対話町政」に徹し、対話の中に町民世論の動向を把握し、長期的視野に立ち、三万都市建設の悲願のため、本年もまた、きびしい社会経済情勢のもとに絶ゆまぬ努力を続ける覚悟でありますので、町民各位の変わぬご支援を賜わりますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

と存じます。

われわれ議会人も、町民の皆様が豊かな生活ができ、明るい毎日を送ることができまますよう意を新たに、町の進展のため努力いたす所存であります。

ご承知のごとく、わが利根町といたしましても、所得倍増政策の振興に伴い、都市化の波が、好むと好まざるにかかわらず、ひしひしと身近に迫ってまいりました。

したが、いまして、町行政の面においても、なお一歩の研究努力をされるとともに、全体の現況を把握いたし、行政面のバランス等を深く留意し皆様の要望に答えなければなりません。

とりわけ、昨今の農政に對しましては、農業者サイドに立って、農業政策に取り組みなければならぬと考える次第であります。

また一方、物価の上昇による消費者の不安等に関しわれわれは、毎日の生活の知恵をいかして、相意工夫のもとに、克服せねばならぬことを痛感する次第であります。

町民各位におかれましては幾多の隘路に打ち勝って、明るい町作りにご協力くださることをお願いいたします。年頭のごあいさつといたします。

訂正とおわび

先月号の広報とね(3)頁「老令福祉年金額の改正」の文中恩給等の併給緩和支給制限については、印刷額「6千円から1万円に」を「6万円から10万円に」と訂正するとともにおわびを申し上げます。

(総務課広報係)

めでたいニュース

昭和48年秋の生存者叙勲



◆勲五等瑞宝章  
後藤 近さん (六九才)  
(大字布川三二七六番地)

◆勲六等瑞宝章  
木村 一郎さん (六七才)

(大字中田切三三八番地)

わが国の勲章制度は、明治八年制定されて以来、ながい歴史と伝統をもち、日本国民はもとより諸外国人もこの勲章には非常な親しみをもちております。

昨年秋の生存者叙勲に際し

勲五等瑞宝章を授与された後藤さんは、消防歴三十九年を有し、その業務に精励し、衆民の模範たるべきものとして去る昭和三十九年には、黄綬褒章を賜わっております。

また、勲六等瑞宝章を授与された木村さんは、衆議院事務局に二十八年七か月勤続という経歴を有し、衆議院参事課長補佐として、国家のため議院運営に尽くされた功績は多大であり、ご両人とも公共または国家に對し、著しい功労のあつたものとして、めでたくも叙勲の榮に浴したものであります。

町民こそって祝福と感謝の心を贈りましょう。

【写真は、後藤近さん(右)と木村一郎さん(左)】



利根町ママさん

バレーチーム優勝

昨年十一月二十五日、那珂町で、茨城県レクリエーション協会主催による「ママさんバレーボール大会」が行なわれました。

この日、利根町チームは寒風にもめげず、優勝をめざす水戸市チーム、関城町チーム



写真は、県のママさんバレーボール大会で優勝した利根町チームの皆さんです。

成功させよう  
49年茨城国体  
と同じブロック三チームによるリーグ戦を行ない、関城町を210で、さらに水戸市チームを同様に210で取り、みごとに優勝いたしました。

### 農業委員会委員決まる

任期満了に伴う利根町農業委員会委員一般選挙は、昨年十二月十五日投票が行なわれる予定でしたが、候補者が、選挙すべき人員(十二名)を超えなかったため、無投票により、次のとおり決定いたしました。委員の任期は三年です。

- 杉山 七郎 五七  
岡野 敏 五三  
中川 富慈 五七  
森田 利雄 六五  
井原義之祐 六五

#### 推薦委員(五人)

- ◎杉山 潔 五九(農協)  
五十嵐仙一 六八(共済)  
□鈴木 吉 六四(学識)  
辻内利兵衛 五七(学識)  
石井 澄勇 四二(学識)  
【注】氏名の下の数字は年令です。

- 立石 干城 五五  
本谷 信 六二  
下村 政夫 四八  
野田 寿男 四八  
篠崎 勝 四四  
藤代 重 四九  
細田 覚一 六三

なお、推薦委員五人も別記のとおり決まりましたので、同時にお知らせいたします。

◎印は会長 ○印は副会長  
□印は代表者です。

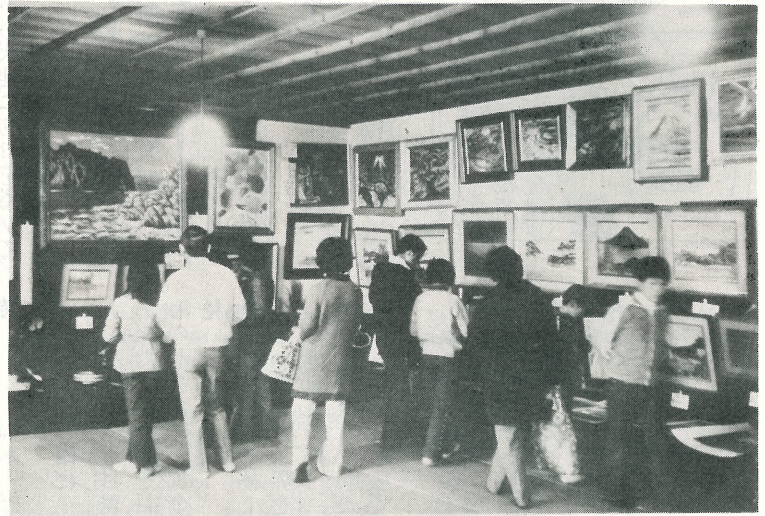
### たばこは町で買いましょ

たばこ消費税は、町の大きな財源となります。町の財源確保のため、たばこは町のたばこ屋さんで買うようご協力ください。

### 美術だより

光電会では、利根町総合美術展を公会堂で、昨年十一月二十八日から五日間開催いたしました。

今回は、青年会や保育園からの参加作品もあり、絵画、写真、書道、生花等、多数立派な作品が展示されました。特に、佐藤、鬼沢両氏の現展出品の大作も見受けられ、なお、鈴木氏の自然主義から自然主義脱皮、さらに進んで抽象主義、靈感芸術にいたるまでの絵画が、最も斬新な描法によって描かれた作品の展



▲写真は、総合美術展の盛況ぶり

覧等もあり、近年第一の盛況でした。そしてこの展覧会は、絵を勉強する者にとっても、最もよい参考となるものでありました。

(光電会)

### 年賀状の後始末

いただいた年賀状のうれしさを忘れないように、大事に

しまっておくのはいいことですが、しまう前に、住所が変わっていたり、変わっていないまでも、番地番号が変わっていることがあります。しっかりと確かめてから住所録に控え、ついでに郵便番号も入れておきましょう。この次に手紙を出すときに、番号を探す手間がはぶけます。

☆ ☆ ☆

(別表)

同情していただいた金品		配分した金品
現金	269,089 円	269,089 円
白米	512.5 kg	512.5 kg
もちごめ	28 kg	28 kg

### 歳末助け合い運動 実績報告

昨年の暮れに実施いたしました歳末助け合い運動につきましては、皆様がたのご好意により、別表のとおりよい成績をおさめることができましたので厚くお礼を申し上げます。

なお、これらの金品の配分につきましては、この表のとおりですので、あわせてご報告申し上げます。

利根町社会福祉協議会  
会長 小島 栄一郎

# 新年所感

## 利根町商工会会長 新井太郎



新年おめでとうございます

昨年は、中東戦争に端を発しアラブの石油制限により、灯油をはじめ、食料品その他あらゆる物資の値上がりと各地に品不足を生んで、今後どうなることかと心配いたしました。

戦後の日本は、急激な経済の成長により、物資に恵まれ昭和の元禄時代とも呼ばれ、使い捨てが美德のように言われてきましたが、石油制限に

より、世界は一変して国をあげて経済の戦国時代に突入してまいりました。

今後は石油危機に関連して各種の法律がどんどん出てくるものと思いますが、あくまでも私たちは、消費者の立場になって考えてゆかなければならないと思います。

先日もある食品関係の業者が二、三日かかって、利根町周辺のデパートやスーパーの値段を調べて、消費者優先に良心的商売をすれば、大資本必ずしも恐るるに足らずと申しております。私たち業者は、まさに激流の中にあつてますます勇氣と実行が必要になりました。

人生はうまくいっても、まづいくつても一片の雲のよう

にくずれ去ると言いますが、その日その日の生きがいのある夢を築いて楽しく過ごすことこそ、幸につながるものと思ひます。

白鷺の街をはじめ、新しく入居された方々をお迎えした利根町が、大きく前進することを祈念して、今年も虎年、力強くみんなで協力し、新しい大地に立ち進んで行きたいと思ひます。

ひろい天地に初日を浴びて  
走る 千里の虎の年

### 新春広報文芸

俳句： 布川 三谷てるを  
初日さす利根の田園淑氣満つ

初晴や南と北に富士筑波

さ、やかな注連飾して里へバス

あばら家に光溢れる明の春

静かなる二人暮しの老の春

S・Y生

切餅の厚さ大きさまちまちに

虎の首始終動いて年新た

レンズより逃げる娘のあり初

写真

詩： 福木 野口 英昭

### 友人の結婚に

大いなる平原を目差し  
あたたかい世界を目差し  
海のかなたに、黄金の世界を  
見出し  
地平線に明日を感じ  
美しい愛感の世界を作るべく  
心の底を見つめ  
きのうの世界に歌った歌を  
あすへのかてとして歌おう

山は高く、谷は深く  
あすは遠くとも  
大いなる平原を目差し  
夢の世界をぬけて  
太陽のもと  
あなたたちは行く  
さようのかてを  
あすへのかてとするために



町勢 (昭和49.1.1現在)	
世帯数	1,951
人口	8,885
	{ 男 4,341
	女 4,544
発行所	利根町役場
町長	小島栄一郎
編集	総務課 広報係
電話〔利根〕	(029768) 2211, 2212, 2213
印刷	倉沢印刷株式会社

今、平原に立ちふきすさぶ風に身をよせるとき  
あたたかい世界が平原の向こうに姿をあらわしあすのために  
きのうを見つめ、さようをつくせ  
今、あすはそこにある進むべき道を進め築くべき城を築け  
いきづく世界がそこに有る限り  
あなたたちはあすを目差せあなたたちに、両手と両足が有るなら  
あすのためにあすを目差せそこには、かならずさようになさる、あすが有るはずだから